

連続講座 2020

講義概要

第14回：2021.1.20

知財最新動向と企業実務への影響を考える

企業活動を取り巻く昨今のトピック、企業が向かうべき方向性として「第4次産業革命」、「Society5.0」、「SDGs」などが唱えられています。

それらの達成に向けての鍵として、データ、AI、IoTといった要素を挙げることができます。これら要素を取り巻く法制度、とりわけデータやAIに関連して知的財産権法は、既存の限界を拡張する方向での変化が模索されてきていますが、そうした拡張は将来に向けて正しい方向なのでしょうか。

本講義では、これら法域の検討課題とその対応のための検討状況、動向を紹介することにより、今後の法制度のあり方や、企業実務として何をしていけばよいのかについて考える場としてみたいと思います。キーワードは「情報の囲い込み」へのアンチテーゼです。

以下をご紹介します。

- I. データの保護に関する話題
 - 1. 著作権法
 - 2. 特許法
 - 3. 不正競争防止法（限定提供データ）
 - 4. 契約
 - 5. 国際的な動き

- II. AI生成物の保護に関する話題
 - 1. 著作権法
 - 2. 国際的な動き

- III. その他情報の保護に関連する話題